

市長記者会見記録

日時：2022年7月20日（水）14時21分～14時42分

場所：第3庁舎18階 講堂

議題：『田村淳さん×福山市長 特別対談動画～川崎市は特別市をめざします～』を発表
表します（総務企画局）

市政一般

<内容>

《『田村淳さん×福山市長 特別対談動画～川崎市は特別市をめざします～』を発表
します》

【司会】 ただいまから市長記者会見を始めます。本日の議題は、『田村淳さん×福
山市長 特別対談動画』を発表します」でございます。初めに、福山市長から本議題
について御説明いたします。市長、よろしくお願いいたします。

【市長】 今日、御迷惑をおかけします。申し訳ありません。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、特別市特別対談動画について御説明をいたします。特別市を実現するた
め、制度化に向けた様々な取組を進めるとともに、市民の皆様には制度の概要や特別市
となる意義、そして本市が目指す特別市について御理解をいただき、機運の醸成を図
っていく必要があります。

このたび、タレントの田村淳さんと、本市が目指す特別市についての対談を行い、
広く市民向けの広報動画を作成いたしました。田村淳さんとの対談を通じて、特別市
制度の概要や、本市が特別市となる意義等について分かりやすくお伝えするとともに、
本市が目指す特別市という新しい行政の形を様々な視点からお示しする内容になった
のではないかと考えております。

田村淳さんにつきましては、市民の目を引く知名度の高さに加えて、かねてより社
会的な事柄を市民目線で分かりやすく説明される様子を拝見しておりまして、本市が
目指す特別市についても、客観的な立場から伝わりやすく引き出してくださると考え、
今回のお相手をお願いいたしました。

実際にお会いするのは初めてでしたが、今回の対談におきましても、制度の概要な
どについて分かりやすくかみ砕いていただき、制度への賛否という視点ではなく、本
市が目指す姿やこれからの取組などについて、市民の皆様には伝わりやすい内容となる

よう丁寧に引き出していただいたと感じています。

動画は、前編・後編15分程度の対談全編版と、全編の内容を分かりやすく6分程度にまとめたダイジェスト版、そして動画の告知を目的とする15秒の予告編を作成しております。この動画につきましては、今後、区役所窓口のデジタルサイネージ、シンポジウムや町内会・自治会を中心とする出前説明会、市のイベント等において放映するとともに、本市YouTubeチャンネルに掲載するなど、様々な媒体を活用して、できるだけ多くの市民の皆様にご覧いただけるよう周知を図ってまいります。特別市の実現に向けて、地域の声を丁寧にお聞きしながら、市民の皆様の間においても、将来の川崎市の在り方について議論が進むよう働きかけてまいりたいと考えております。

私からは以上です。

【司会】 ありがとうございます。

それでは、本日の議題についての質疑応答に入らせていただきます。なお、市政一般に関する質疑につきましては、議題についての質疑が終了後、改めてお受けいたします。

進行につきましては、幹事社様、よろしく願いいたします。

【共同（幹事社）】 共同通信社です。御説明ありがとうございました。まず、今回、こういった動画を作成するに当たって、なぜこのタイミングでこういったことをされようと思ったのかという部分と、あと、かかった事業費などについて教えていただければと思います。

【市長】 まず、このタイミングというのは、この1年間、今年の冒頭から申し上げておりますけれども、来年の統一地方選挙もありますし、昨年の秋に指定都市市長会で最終報告を出して、今年度はしっかりと市民の皆さんに周知をしていくということをごこれまでも申しておりましたので、そのタイミングで、先ほど申し上げましたように、これから出前の説明会だとか、こういった機運醸成をやっていくタイミングに、私が全部行けるわけではないので、分かりやすい動画を作成しようということで、今回のタイミングで作らせていただきました。

そして、今回の動画に関する経費というのは、実はそういう契約になっておりませんので、広報活動支援業務の一環として、今年度、2,000万円の予算を取っておりますけれども、その中の一部を今回の動画に使っているという形にしております。ほかにパンフレットの作成ですとか説明会実施、こういったものの業務委託の一環となっております。

以上です。

【共同（幹事社）】 分かりました。ありがとうございます。また、特別市の実現に向けて、県内には3つの政令指定都市がありますがけれども、全国的に見て、機運の醸成というか、そういった部分について、現在、どのような位置にあるとお考えでしょうか。

【市長】 まだ市民の皆さんの認知度はそれほど高くないと思っていて、これは全国的にもそうだと思います。ただ、今おっしゃっていただいたように、神奈川県は政令市が3つあるというところでは全国でも唯一の県でもありますので、そういった意味では問題意識を抱えている方は相対的に全国の中でも多いと思っています。なので、今の課題だとか特別市をやっていく意義というものをこれからしっかりと丁寧に説明していくことによって理解が深まるのではないかと考えています。

【共同（幹事社）】 分かりました。ありがとうございます。

幹事社からは以上です。各社さん、どうぞ。

【司会】 何かございませんでしょうか。

【読売】 読売新聞です。お願いします。これ、公開日は今日になるのでしょうか。

【市長】 はい、そうなります。

【読売】 あと、見てほしい対象というのは、市民以外にも広がるものなのでしょうか、わざわざ田村さんを使ったということは。

【市長】 いや、市民が対象にはなっていますけれども、どなたが見ていただいても、ああ、特別市ってこういうことなのねってお分かりいただける内容になっているかと思えますから。ただ、ほかの市の方が私が出ている動画って、何となく、うん？ という感覚があるのかもしれないけれども。

【読売】 実際にできた動画を御覧になって、川崎にゆかりがない田村さんが出演したということで、あえて出演してもらったということで、何か、こういう効果が期待できるというところは何かお考えでしょうか。

【市長】 やっぱり非常に知名度の高い方ですし、先ほども申し上げましたけれども、政治だとか社会問題みたいなのを非常に分かりやすくかみ砕く能力って非常に高い方だと私は思っていて、そういった意味では、実は今回の話も、そんなに念入りに田村さんに御説明したという形ではないんです。それでもやっぱり理解が非常に早いですし、リハーサルゼロなので、一発でぱっと理解してかみ砕くのってすごい能力だなと思いましたけれども、手前みそですけども、分かりやすい動画になっていると思っています。

【読売】 最後に、先ほど、制作費について、今年度の広報の予算の2,000万円の

一部ということでしたけれども、田村さんという有名人が出ていることもあって、この動画自体に幾らかかったんだらうというのは結構気になるところではあるんですけども、この動画だけでこのぐらいかかりましたというのは何とか出していただけないものではないのでしょうか。

【市長】 これ多分、契約上の問題があると思うんです。なので、そういう形は出せないと聞いているんですけども。

【読売】 分かりました。ありがとうございます。

【司会】 そのほか、いかがでしょうか。それでは、議題の質問については以上とさせていただきます。

《市政一般》

《新型コロナウイルス感染症陽性者の増加について》

【司会】 次に、市政一般に対する質疑をお受けいたします。進行につきましては、幹事社様、よろしく願いいたします。

【東京】 幹事社の東京新聞です。よろしくお願いします。

今回、このような形でリモートでの会見となりましたけれども、市長がリモートで会見されるのは今回初めてということでよろしいでしょうか。

【市長】 そうですね。記憶にないですから、多分初めてだと思います。

【東京】 なるほど。市長にも身近なことになったのかなとは思いますが、今、市内でも感染者が非常に増えてきていて、なかなか発熱外来に予約ができないですとか、入院調整が必要になってきている医療体制の逼迫も近づいてきているのかなと思うんですけども、今の市内の医療機関の状況について御説明いただけますでしょうか。

【市長】 今日時点で、私の記憶が正しければ、入院患者数160名だったと記憶していますけれども、病床はフェーズ3まで上げていますので、そういった意味ではまだ病床にも余裕がありますし、今日時点での重症患者さんは4名になっていますので、そういった意味で、これほど感染者数が日々増えていっているに関わらず重症者は非常に低く抑えられているということはちょっと安心はしていますが、ただ、これからどれぐらいさらに伸びていくのかということ非常に注視しているというか、危機感を持って見ているところです。これからも、これ以上、保健所の体制もそうですし、医療の体制についても、やはり前もった対策をしっかり行っていきたいと思っています。

【東京】 保健所の業務体制のお話、今ありましたけれども、以前されたように、職

員の応援も今考えてはいらっしゃいますでしょうか。

【市長】 既に部内での応援という体制から格上げして、局内応援という形での応援体制を敷いてやっています。ようやく先週の3連休の中で応援体制をつくって、業務の処理をどんどん今行って、大分解消できているという話を今朝も報告を受けました。さらに今後、逼迫していくという、業務量が多くなっていくことになれば、さらにレベル感を上げて、全庁体制の応援体制に移行していくことと、それから、外部人材ということでも順次人数を増やしていつている状況でありまして、その辺りは遺漏なきようにやっていきたいと思っています。

【東京】 夏にかけて、市が関連するイベントなども開催が予定されているかと思うんですけども、今のところ、開催の計画など変更は特にありませんでしょうか。

【市長】 現時点ではありません。政府の中でも、行動制限をつけていくというレベルにないという現時点での判断でありますので、まだそこに川崎市の判断としても至っていないということになっています。今後の状況をよく見ていくということです。

《安倍元首相の死去について》

【東京】 ちょっと話変わりました、先日、参院選の終盤に安倍元首相が殺害されるというショッキングな事件がありました。この事件自体はとても許されるものではないと考えてはいるんですけども、一方で、国葬の開催の是非ですとか、横浜市などでは、市として記帳所を設けたことに対して一部で批判の声などもあるようですが、川崎市は、市の場所は貸すけれども、記帳所、献花台の設置は自民党川崎市連でという対応だったかと思います。この辺の判断はどういうところからなされたのでしょうか。

【市長】 他都市の状況も聞いておりましたけれども、例えば市が記帳台を設けても、あの判断の当時は、記帳していただいたとしても、どなたにお預けするのかということも一切決まっておりました。そういったことから、自民党の大島幹事長なども少しお話をさせていただいた上で、こういう判断に至ったということになります。

【東京】 念のためお尋ねしたいのですが、市長も政治家としての経験が大分長くなってきていらっしゃるということで、特定の宗教団体のイベントなどに電報を送られたりですとかメッセージを送られたりされたことはありませんでしょうか。

【市長】 うーん、特定の宗教団体……、調べてみないと分からないですけども、あるとも言えないし、ないとも言えないですね。最近はないと思いますけれども、過去にあったかどうかというのは、調べてみないと分かりません。

【東京】 今、騒がれている旧統一教会関連に限ってもはっきりとはしないような感

じでしょうか。

【市長】 だと思えます。何かをしたことは記憶にないですけれども。

【東京】 ありがとうございます。

各社さん、いかがでしょうか。

《東扇島東公園の大型バス放置について》

【t v k】 t v kです。よろしくお願ひします。先日、東扇島に放置されている大型バスがついに行政代執行という情報をいただいたんですけれども、再三にわたる通告を無視し続けてこのような結果になったことについて、市長の所感を教えていただきたいです。

【市長】 これまでにも何度かお尋ねいただきましたけれども、こういった身勝手な行為は本当に許されないと申しますし、市民が憩う場所でもありますから、そういったところに放置し続けることは決してあってはならないし、厳しい対応をしていかなければならないと思っていましたし、22日、代執行に向けて着々と粛々とやっていきたいと思っています。

【t v k】 ありがとうございます。自走不可能な状態の車なのかと思うんですけれども、それを動かすための費用と、現在請求されるべき駐車料金というのは、併せるとどのぐらいになるんですか。

【市長】 移動にかかる費用は約30万円だと聞いています。それ以外の費用については、事務方からでもよろしいでしょうか。

【港湾局】 港湾局港営課でございます。駐車料金については、本日時点でおおよそ67万円弱になっております。

【t v k】 ありがとうございます。最後にお聞きしたいんですけれども、このような形でずっと無視してきた人から本当に費用を回収できるのかというのが、結構市民の方、不安に思われるかなというのもあると思うんですけれども、その点については、どういった体制というか、対応を取られていきたいと思われませんか。

【市長】 毅然とした態度で臨みたいと思えます。どのぐらいの資力があるかとかいうのは私もその情報を持ち合わせていませんけれども、市の姿勢としては、しっかりとお支払いいただくというのが、これは徹底していきたいと思っています。

【t v k】 ありがとうございます。以上です。

【神奈川】 神奈川新聞社です。このたびなんですけれども、市長のほうで濃厚接触者になられたということなんですけれども、今後の執務の状態についてなんですけど、例えば、自宅でのテレワークとかどういった形で行っていかれる予定でしょうか。

【市長】 まだ私、このことが判明したのが昼の時点なので、どうやってやっていこうかというのはまさに、今日も御迷惑をおかけしましたけれども、急遽こういう形になって、この後の執務についてもオンラインでやらせてもらうという形で、私はこの執務室にしながら、それぞれの職場とのオンラインで仕事をこなしていこうと思ひますし、あしたからは、やはり自宅なりというところからだと考えていますが、そこから執務をさせていただく。来客については、申し訳ありませんけれども、予定を変更していただくなどのお願いをこれからしていかななくちゃいけないと思ひています。

【神奈川】 御自宅でのテレワークというのは、大体いつ頃まで続きそうかというのは分かりますか。

【市長】 自分自身も今濃厚接触者ですけれども、今後、陽性になる可能性も否定できないので、それによって日にちが変化してくると思ひますので、その辺りはまだ何ともという感じですか。5日間で済むのか、あるいは7日以上になっていくのかというのは、今後の私自身のことに関わってくると思ひています。

【神奈川】 先ほどの話にもありましたけど、市内で今、感染者数が1,000人から2,000人台と推移しておりますけれども、こういった中で市長から市民の皆さんに対する感染拡大を防ぐための呼びかけですとか、御自身の思いがあればお伺いしたいんですが、いかがでしょうか。

【市長】 これ、どこでうつっても、もう本当に何をしたらということじゃなくて、いつ、どなたがかかってもおかしくない状況ですので、そういった意味では、基本的な感染対策をしっかりとやっていただく以外の方法がないと思ひます。ですから、基本的な感染対策をしっかりとやっていただくことと、なるべくリスクは避けていくと。その両方を徹底していくしか収束させる方法がないのではないかなと思ひていますので、ぜひ引き続きの御協力をいただければと思ひています。

【神奈川】 承知しました。どうもありがとうございました。お大事になさってください。

【市長】 ありがとうございます。

【司会】 御質問はよろしいでしょうか。

それでは、本日の記者会見を終了させていただきます。本日は急遽、時間の変更と運用の対応に御理解、御協力をいただきまして、ありがとうございました。

【市長】 どうもありがとうございました。

(以上)

-
- ・この記録は、重複した言葉づかい、明らかな言い直しや質問項目などを整理した上で掲載しています。

(お問合せ) 川崎市役所総務企画局シティプロモーション推進室報道担当

電話番号：044(200)0312